

2016

ぶうげん
びりあ

月号

No.276

ホームページ <http://www.hahashouchu.ogasawara.ed.jp/>

集中力を育てる習慣の重み

副校長 乙幡 英剛

「うちの子、落ち着いて本を読もうとしないんです。」

「ようやく机に向かったと思ったのに、すぐに飽きてしまうんです…。」

時々、保護者の方から同う言葉ですが、これは読書や学習に対する集中力に関する問題と言えます。

では、どうしたら集中力が高まるのでしょうか。

この点について外山滋比古氏（お茶の水女子大学）は、「空気の教育」という言葉を使って説明しています。これは、その子を包んでいる「学校や家庭の雰囲気」を意味する言葉であり、毎日繰り返される習慣の中にこそ集中力や意欲を養うヒントがあるというものです。

ラグビー日本代表選手としてワールドカップで活躍、シーズンの得点王にも輝き、現在は、オーストラリアにおいてもプレーする五郎丸選手の「正確なキック」の秘密について、こんな記事を目にしました。

五郎丸選手は、キックの前に、必ず「ルーチン」と呼ばれる一連の予備動作を行います。この理由について五郎丸選手は、「どんな場面でも同じキックを蹴ることができるよう、安定性を求めているため。」と語っています。また、その効果についてラグビー日本代表の荒木コーチは、「周りの歓声による集中の乱れや、『もし入らなかったら』という雑念を取り除くことができる。」と話しています（「読売新聞」平成27年10月3日）。

他にも、米大リーグ・イチロー選手のバッターボックスでの仕草や大関・琴奨菊の「琴パワー」などに見られるように、普段と同じ予備動作や型（あるいは呼吸）を試合でも行うことで、余計な力を抜き、迷いを消すことで集中力を高めていると言えるでしょう。

外山氏は、「心の空気」を「形式×繰り返し×時間」と表しています。たとえば、夕食のあと、まずは30分ほど家族で本を開いてみる。あるいは、今日の授業の内容について振り返ってみる。このような「型」の積み重ねがやがて習慣となって表れてくるのではないのでしょうか。

母島小中学校では、今年度より「学びのスタンダード」を実行していきます。

学習面については、「授業のあいさつまでに、必要なものをそろえておく。」「背筋を伸ばして（姿勢を正して）授業を受ける。」「始まるの時間に席に着く（あいさつをする）。」（小中共通）「きれいな黒板で、授業をスタートする。」（中）など、どれも当たり前ですが、確実に行わなければならないことです。

本年度の母島小中学校は、児童生徒の学力の向上に一層努めて参ります。保護者の皆様、今年度も宜しくお願い致します。



離任者挨拶

母島を離れて思うこと

小学校副校長 加納 直樹

武蔵村山市立第七小学校に移り、600人以上の児童と50人以上の教職員に温かく迎えてもらいました。今年から小中一貫校「大南学園（おおみなみがくえん）」として新しい歴史が始まる学校で、4月には開校式もありました。

今はまだ交通量の多さや、仕事の煩雑さに戸惑う毎日です。ネクタイを締めて電車・バス通勤をする道の途中にはきれいな桜が咲いているけれど、時間に追われる生活の中で、ゆっくりと景色を眺める余裕がありません。天気がいい日も風は冷たく肌寒く感じます。

そんな時、母島のことを考えると心も身体もふっと温かくなります。母島での素晴らしい思い出が、ずっと私を励ますことになりそうです。本当にありがとうございました。皆様の幸せを心から願っています。

離任の挨拶

中学校国語 村岡 仁

一週間後の離島を控えた今、これまで味わったことのない思いが体中に満ちている。やっと家族のもとに帰れるのに、うれしさよりも切なさのほうが勝っている自分の心境にとまどいを感じる。夏にケガした折に助けてくださった皆さん、心配してくださった皆さん、松葉杖の私に声をかけてくださった皆さん、ありがとうございました。何かと迷惑をかけた（特にお酒の上で）にも関わらず、見捨てず仲良くしてくださった皆さん、楽しかったです。何より日々の授業を笑顔で一生懸命受けてくれた中学生、卒業生の皆さん、私はあなたたちに出会えて幸せでした。

これから内地で玉手箱を開けることになるのだろうか。その箱からは何が出てくるのだろうか。少しの不安は否めないけど、母島での記憶が自分を支えてくれるはずだ。

元気にしています！

小学校教諭 河合まりえ

母島を懐かしく思う今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。きっと半袖で元気いっぱい過ごしていることと思います。羨ましいです！八王子は東京の中でも寒く、まだまだセーターを着て過ごしています。

私は今、八王子第九小学校の5年生担任として36人の子供たちと楽しく過ごしています。子供たちにはよく、母島のことを話します。自然のこと、生き物のこと、島民の方の生活のこと。みんな興味津々聞いてくれます。その様子を見ていると、改めて自分がいたところ、母島のすごさを感じます。母島で培った全てのことを生かし、八王子でも自分らしく頑張っていこうと思います。また皆さんに会える日を心から楽しみにしています。

ご入学おめでとうございます

小学校1年担任 橋爪 友紀子

ようこそ！！母島小学校へ★

元気いっぱい・優しくて・何事にも一生懸命な今年の母島小学校1年生。

- ・休み時間は、竹馬や一輪車、縄跳びをして遊んでいます。特に一輪車が大人気。「先生！！少し乗れるようになったよ！！」と、毎日キラキラ笑顔で教えてくれます。
- ・一輪車の乗り方のコツを友達に教えてあげたり、みんなが楽しく遊べるように「3つのおにごっこを順番にやったら良いんじゃない？」とアイデアを出したり、そんな心温まる行動を1日に何回も目にし、その度に微笑んでしまいます。
- ・授業でも、元気な「はい！」が響きます。うでを耳につけてピン！！目をキラキラさせながら一生懸命発表しています。

いよいよ始まった小学校生活♪地域の皆様、保護者の皆様、母島小学校の可愛らしい1年生をこれからどうぞ温かく見守ってください。

中学生になって

中学校1年担任 竹下 弘

「平島移動教室楽しみ～」 「肝試ししたい～」 「魚嫌い～」 など入学早々中学校の行事について話をしていました。さすがよく中学校のことも知っているなど感じられました。しかし、中学校は小学校と異なることが多くあります。小学校での良き文化を残しつつ、中学校ではより深く考え行動して行ってほしいと思います。

1年生最初の学活では緊張感も感じられましたが、それ以上に楽しみや期待、やる気が感じられました。それぞれ中学生としてどう成長していきたいのかがはっきりとしており、これからどんどん逞しく成長していけると確信しました。今年の中学校の生徒数は女子8人ということで、すべての中学校行事を女子だけで運営していかなければなりません。しかし、今こそ社会で活躍できる女性へと成長する大チャンスです。この1年間を女子8人で協力して、1年生としての意見もたくさん出して行ってほしいです。



< 5 月行事予定 >

日	曜	行事予定
1	日	ははじまフェスティバル
2	月	朝礼 (安全指導) 村学力調査 (小2～中3)
3	火	憲法記念日 (こどもの日の集い 10:00～)
4	水	みどりの日
5	木	こどもの日 (PTA総会・歓迎会 18:30～)
6	金	ベーシックタイム 行事前健診 (中3) 部活動
7	土	修学旅行始 (中3)
8	日	
9	月	朝礼 ↑ スクールカウンセラー来島
10	火	ベーシックタイム 家庭訪問終
11	水	(小)朝読書 ユメセン (小5・6)
12	木	(小) 朝南洋踊り 英会話始 (小1) ↓
13	金	ベーシックタイム 部活動 プール清掃
14	土	
15	日	
16	月	朝礼 (保健指導) 修学旅行終 (中3) 眼科健診 (全)
17	火	ベーシックタイム 避難訓練 (中3 振替休業日) 係児童生徒打ち合わせ 15:30～
18	水	(小)朝読書 周辺美化6h 行事前健診(小6)
19	木	(小)児童集会 父島移動教室始 (小6)
20	金	ベーシックタイム 部活動
21	土	父島移動教室終 (小6)
22	日	
23	月	小中朝礼(小4/中1)
24	火	ベーシックタイム (中)心肺蘇生法講習会6h デザートの日
25	水	(小)朝読書 運動会予行
26	木	(小)朝南洋踊り 係児童生徒打ち合わせ 15:30～ 運動会予行予備日
27	金	ベーシックタイム 運動会前日準備
28	土	運動会
29	日	運動会予備日
30	月	振替休業日
31	火	朝礼 (中)吹奏楽 14:30～

5月の生活目標

「お互いを大切にしよう」

- ・ あいさつ、正しい言葉づかいをして
気持ちのよい学校生活をしよう。
- ・ 思いやりの心をもとう。
- ・ 悩みごとは周りの人に相談しよう。

5月の安全指導 2日(月)

「ケガに対する注意やケガをしたときの対応及び海での遊び方」が重点指導目標です。遊具の使い方や校庭・体育館での遊び方について確認します。また、けがをしたときの的確な対処法を身に付けさせます。

海での遊びが始まるころでもありますので、安全に十分注意させたいと思っています。

5月の避難訓練 17日(火)

地震が発生し、負傷者が出た場合を想定した避難訓練を行います。

放送の指示をよく聞いて、机の下にもぐり頭部を保護するなど、安全かつ素早く冷静な行動を身に付けさせます。

第42回 運動会 について

日時

5月28日(土)

午前9時00分～午後3時30分

(雨天時：5月29日(日)に延期。その場合、28日は平常授業)

ねらい

- 日常の体育的な学習の成果を発揮するとともに、心身の健全な発達を促進する機会とする。
- 準備・競技・演技・応援・片付けなどを通して、協力・責任・公正などの態度を培い、社会性を伸ばす場とする。
- 保護者や地域の方々に本校の教育の一面を理解していただくとともに、島民の交流の場とし、愛校心を育む。